

進路だより

『思い』に寄り添った、進路実現に向けて

本号の内容

令和2年度高等部 卒業生進路紹介

卒業生保護者より メッセージ紹介

・卒業生保護者が感じる
在学中に取り組んでいて
よかったこと

・卒業生保護者が感じる
今、思えば・・・

進路部よりお知らせ

伊万里特別支援学校
進路指導部

種別(人数)		進路先名	人数
就職	●一般企業(3)	就職者	1名
		・いこいの里伊万里(介護)※グループホーム利用 ・そよかぜの杜(介護)※グループホーム利用 ・ドラッグストアモリ伊万里店(小売り)	1名 1名 1名
福祉サービスの利用	●A型(3)	就職者	1名
			・ワークショップ道の家(介護)※グループホーム利用 ・ワークショップ道の家(清掃) ・グッドライフ(養鶏)※グループホーム利用
	●就労移行支援(1) ●B型(6)	利用者	1名
			・パンちゃん(製パン、外販) ・ここにこいまり(「漬もん屋鉢瓶」) ・ここにこいまり(軽作業) ・いまりの里(軽作業) ・UniversalCafe ソラシド(製パン、外販) ・ワークセンターがたっこ(シイタケ栽培)
●生活介護(2) ※参考 進路変更2名	介護系	2名	
	・フラット(余暇、健康面への支援など) ・デイサポート瑠璃光苑、ワークショップ道の家(生活介護の併用) ・脊振学園(2年生)(入所)	1名 1名	

卒業生進路先一覧



この表をみて「？」はありませんか？

- 進路先はどうやって決まっているのだろう？
→進路先は就業・施設体験を行った事業所からマッチングします。
- A型の人でも「就職者」になっているのはなぜ？
→A型は福祉サービスの中でも最低賃金を保障する、雇用契約を結ぶ事業所なので就職者となります。
- グループホームを使っている人は何人ぐらいいるの？
- 「就労移行支援」とは何？

そんな疑問や進路・将来の生活についての不安が少しでも解消されるように、毎月発行の「進路だより」で少しずつ情報提供をしていきます。

3月には「進路だより」に掲載した情報と福祉サービスの利用や就業・施設体験の説明等をまとめ、進路の“サポートブック”として「進路ハンドブック」を発行する予定です。

卒業生保護者よりメッセージ



卒業生保護者が感じる 在学中に取り組んでい てよかったこと

- ・子どもの意見を聞いて、本人の“やりたい事”に近い事業所へ体験に行かせたことです。長く続けさせるには興味のある作業につくことが一番だと思ったからです。
- ・3週間の体験は、生活リズムが整うか、本人の仕事の向き不向きはどうかをしっかりと見ることができました。
- ・就業・施設体験は子ども自身が自分を理解するのに役立っていました。親が知らない面も発見できました。
- ・実際の進路先は含まれませんでした。事業所見学会などでいろいろな事業所を実際に見て回り、情報を得ることで具体的な希望など出しやすかったかなと思います。

卒業生保護者が感じる 今、思えば・・・

- ・学校の事業所の説明会には、よく参加していましたが、見学は子どもが高等部にはいるくらいから行くようになりました。もっと早くからいろんな事業所を見学していれば...と思いました。
- ・希望する作業所を高3で変更したので、早くから一か所に決定しておけば本人もよかったかなと思う。
- ・将来グループホームに入ることが視野にあるので、在学中から自立心を養う必要性を感じています。



～行事紹介～

○4月26日（月）9：00～ 進路懇談会 45名の参加がありました。

○5月25日（火）事業所説明会「ワークショップ道の家」
（肢体不自由課程保護者対象）

○5月24日～ 高等部2、3年生前期就業・施設体験 事前面接開始